|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 精神科神経科臨床実習レポート（６年生） | | |
|  | | |
| レポート作成上の留意点  ○　担当症例に関する記載欄については実際の症例に即した記載を行うこととし、学術的な意義や一般化した議論についての記載のみに終始しないこと。  ○　ウェブページ等からの転載は不可。  ○　記載量に応じて表組みをフレキシブルにして記載すること （あまりにも記述量の少ないレポートは不可）。 | | |
|  | | |
| 学生番号 | | Ｍ |
| 氏名 | |  |
| 実習期間 | | 令和　　年　　月　　日～令和　　年　　月　　日 |
|  | | |
| 病棟実習：担当症例に関する記載欄 | | |
| 担当症例 | 年齢　　　　歳　　　男性・女性 | |
| ①診断名とその根拠  《注：主治医の判断と異なっていても構わないので、自分なりのアセスメントに基づいた診断について記載すること。》 | | |
| ②診察所見  《注：神経学的所見を含む身体現症及び精神科的現症について、自身で行った診察に基づいて記載すること。》 | | |
| ③現在の治療方針： | | |
| ④実習(面談時)において、患者さんとお話した内容：  《注：患者さんが病気にかかったことにより、心理社会的にどのようなことに困っているのか、について必ず記載すること。》 | | |
| ⑤患者さんとのお話の中で感じたこと： | | |
| ⑥症例や、患者さんとのお話の中で興味をもったこと： | | |
|  | | |
| 実習全体に関する記載欄 | | |
| ⑦精神医学、精神医療について、必修基本実習（５年生時の実習）と比較して、どのような点でより理解が深まったか： | | |
| ⑧疑問に思ったこと、関心をもったこと、感想(自由闊達に)： | | |